

福井市自然史博物館所蔵の食肉類（哺乳類）骨格標本目録

田中 嘉寛*

A catalog of the Carnivora (Mammalia) skeleton collections at Fukui City Museum of Natural History
Yoshihiro TANAKA*

(要旨) 福井市自然史博物館所蔵の食肉類（哺乳類）骨格標本を再同定し目録を作成した。また、過去の福井県における食肉類の観察記録と今まで当館が収集した観察記録をまとめた。

キーワード：食肉類，骨格標本，博物館標本，目録，観察記録

1 はじめに

福井県福祉環境部自然保護課（2002）によると福井県には外来種を含め計7目19科48種の野生陸棲哺乳類が生息している。そのうち食肉類に含まれるのは在来種8種（タヌキ，アナグマ，イタチ，ツキノワグマ，キツネ，オコジョ，テン，イイズナ），外来種5種（アライグマ，ノイヌ，チョウセンイタチ，ハクビシン，ノネコ），海生の鱗脚類3種（オットセイ，アゴヒゲアザラシ，ゴマフアザラシ），絶滅種2種（ニホンオオカミ，ニホンカワウソ）の計17種（ノイヌとオオカミは同種別亜種）となる。

福井県の哺乳類相については情報が不足しており，福井県に哺乳類の研究者がほとんどいないことが大きな要因である（福井県県民生活部自然保護課，1998）。そのような背景から，本稿は今後の食肉類における研究の基礎知見として資することを目的とし，2009年に作られた福井市自然史博物館の骨格収蔵庫構築から食肉類骨格標本を再同定し目録を作製した。また，過去の福井県における食肉類の観察記録と今まで当館が収集した観察記録をまとめた。なお，分類群名および学名，和名は Ohdachi et al. (2009) に従った。当時と現在の地名が異なる場合は竹内（1989）に従い併記した。

2 目録および観察記録

当館所蔵骨格標本は①標本番号 ②採集日 ③採集地 ④保存部位とした。

オットセイ *Callorhinus ursinus*

[当館所蔵骨格標本] ①FCMNH-Ma 026 ②1982年1月21日 ③採集地不明 ④頭蓋（吻部破損）

[当館の観察記録] なし。

[福井県での観察記録] 1965年4月13日，若狭湾常神

沖にて拾得記録がある（東谷，1966a, b）。1999年3月30日，越前町の海岸に漂着し越前松島水族館によって保護された（越前松島水族館ホームページ）。

ノイヌ *Canis lupus familiaris*

[当館所蔵骨格標本]

①FCMNH-Ma 217 ②1952年3月28日（寄贈日）

③採集地不明 ④頭蓋および下顎，

①FCMNH-Ma 274 ②2008年11月30日 ③福井市足羽山 ④頭蓋（右のM2は脱落）

[当館の観察記録] 下記参照。

[福井県での観察記録] 2005～6年に自動撮影カメラによる調査では，茶白山（越前市），日野山（武生市および南条町），長泉寺山（鯖江市）にて確認された（石田・内藤，2007。内藤・石田，2008）。

ニホンオオカミ *Canis lupus hodophilax*

[当館所蔵骨格標本] なし。

[当館の観察記録] なし。

[福井県での観察記録] 福井県における生息状況は詳しく分かっておらず，1830年～1850年に捕獲されたものを古物商から購入し，福井県産として保存された頭蓋が2個あり，国立科学博物館に収蔵されている（福井県生活環境部自然保護課，1982）。

アゴヒゲアザラシ *Erignathus barbatus*

[当館所蔵骨格標本] なし。

[当館の観察記録] なし。

[福井県での観察記録] 1961年4月，若狭湾常神沖での観察記録があるが（東谷，1966a, b），その詳細については記載されていない。

ノネコ *Felis silvestris catus*

[当館所蔵骨格標本]

*福井市自然史博物館 〒918-8006 福井市足羽上町147

*Fukui City Museum of Natural History 147 Asuwakami-cho, Fukui 918-8006, Japan

- ①FCMNH-Ma 035 ②1952年3月28日(寄贈日)
 ③採集地不明 ④頭蓋(右I2脱落)および下顎
 ①FCMNH-Ma 161 ②2007年11月4日 ③福井市足羽山 ④頭蓋(吻部破損)
 ①FCMNH-Ma 329 ②1978年8月29日 ③当時, 芦原町吉崎海岸(現, あわら市) ④頭蓋および脊柱
 [当館の観察記録] 下記参照.
 [福井県での観察記録] 2005~6年に自動撮影カメラによる調査では, 丸山(福井市), 足羽山(福井市), 田尻栃谷(福井市), 村国山(武生市), 鬼ヶ岳(越前市), 妙法寺山(越前市)にて確認された(石田・内藤, 2007, 内藤・石田, 2008).

ニホンカワウソ *Lutra lutra Nippon*

- [当館所蔵骨格標本] なし.
 [当館の観察記録] なし.
 [福井県での観察記録] 現在では高知県でのみ生存の可能性はあるが, 福井県でも数十年前までは見たという情報がある(福井県県民生活部自然保護課, 1998).

テン *Martes melampus*

- [当館所蔵骨格標本]
 ①FCMNH-Ma 073 ②2006年10月21日 ③大野市下山 ④頭蓋(破片), 下顎, 左右の肩甲骨, 左右の上腕骨, 骨盤, 左右の大腿骨, 脊柱, 肋骨
 ①FCMNH-Ma 229 ②2008年4月25日 ③福井市蔵作町 ④頭蓋(破片)
 ①FCMNH-Ma 278 ②採集日不明 ③採集地不明
 ④頭蓋および下顎
 ①FCMNH-Ma 372 ②採集日不明 ③採集地不明
 ④頭蓋および下顎
 ①FCMNH-Ma 373 ②採集日不明 ③採集地不明
 ④頭蓋および下顎
 ①FCMNH-Ma 374 ②1982年1月21日 ③採集地不明 ④頭蓋(右頬骨弓破損, 左右ともI1, I2, C, P1, P3は脱落)
 [当館の観察記録] 1975年3月28日にあわら市下番(記録には鯖江郡下番村とあるが下番はあわら市の地名である), 2002年3月3日に当時, 丹生郡清水町大森(現, 福井市大森町)にて, 同年4月29日に福井市大村町にて, 2007年2月16日に鯖江市落井町にて, 2008年4月25日に福井市西天田町にて観察された記録がある.
 [福井県での観察記録] 1973年11月24日に美浜町早瀬で, 1981年4月23日に当時, 南条郡南条町阿久和(現, 南越前町阿久和)で観察記録がある(福井県生活環境部自然保護課, 1982).

アナグマ *Meles anakuma*

- [当館所蔵骨格標本]

- ①FCMNH-Ma 019 ②1972年5月11日 ③採集地不明 ④全身骨格
 ①FCMNH-Ma 030 ②採集日不明 ③採集地不明
 ④頭蓋および下顎
 ①FCMNH-Ma 055 ②2004年5月16日 ③当時, 足羽郡美山町縫原(現, 福井市縫原町) ④全身組み立て骨格(舌骨は損失)
 ①FCMNH-Ma 155 ②2007年9月15日 ③勝山市北郷町下森川 ④全身骨格
 ①FCMNH-Ma 219 ②1952年3月28日(寄贈日) ③採集地不明 ④頭蓋(左I2は脱落)および下顎(右m2は脱落)
 [当館の観察記録] 1951年7月7日に当時, 武生郡岩内村(現, 武生市岩内町)にて, 2006年8月30日に敦賀市横浜にて, 2007年9月15日に勝山市北郷町下森川にて観察された記録がある.
 [福井県での観察記録] 福井県では, 1981年5月13日に越前町白浜で, 同年8月14日に当時, 丹生郡織田町(現, 越前町織田)と当時, 今立郡今立町栗田部(現, 越前市栗田部町)でそれぞれ観察記録があり, 栗田部の個体は写真が掲載されている(福井県生活環境部自然保護課, 1982).

オコジヨ *Mustela erminea*

- [当館所蔵骨格標本] なし.
 [当館の観察記録] なし.
 [福井県での観察記録] 1953年に勝山市で観察記録があり(東谷, 1969), 1994年にも勝山市で撮影されている(大迫・角, 1995).

イタチ *Mustela itatsi*

- [当館所蔵骨格標本]
 ①FCMNH-Ma247 ②2006年7月27日 ③福井市 ④頭蓋骨(破片)
 cf. *Mustela itatsi* ①FCMNH-Ma 371 ②1974年3月19日 ③丸岡町一本田福所 ④全身骨格
 [当館の観察記録] 1951年9月19日に当時, 今立郡日野村岩内(現, 越前市岩内町)にて, 同年10月7日に当時, 武生市北府町(現, 越前市北府)にて, 1957年3月24日に当時, 足羽郡足羽村酒生地区(現, 福井市成願寺町)にて, 1969年8月28日に当時, 坂井郡金津町笹岡(現, あわら市笹岡)にて, 1972年1月10日に当時, 丹生郡清水町杉谷(現, 福井市清水杉谷町)にて, 1980年3月28日に福井市日野川堤防にて, 2006年12月15日に越前町小ノ宮にて, 2007年4月25日に福井市在田町にて観察された記録がある.
 [福井県での観察記録] 1960年3月25日に当時, 武生市(現, 越前市)で, 1980年7月に福井市大手3丁目, 同年11月に福井市(河北町とあるがその地名はなく,

上河北あるいは下河北だと思われる）で観察記録があり、武生の個体は写真が掲載されている（福井県生活環境部自然保護課，1982）。

イイズナ *Mustela nivalis*

[当館所蔵骨格標本] なし。

[当館の観察記録] なし。

[福井県での観察記録] 本種の情報は極めて少なく、東谷（1969）によると1953年に勝山市で確認されており、福井県生活環境部自然保護課（1982）によると1952年1月13日に当時、大野郡五箇村上打波（現、大野市上打波）で、1980年11月30日には当時、今立郡今立町（現、越前市）で採集されている。今立町の個体は毛皮として残されているらしく毛皮の写真が掲載されている。

シベリアイタチ（チョウセンイタチ） *Mustela sibirica*

[当館所蔵骨格標本] なし。

[当館の観察記録] なし。

[福井県での観察記録] 1975年11月に敦賀市で（福井県生活環境部自然保護課，1982）、1997年10月10日に小浜市北川にて（福井県県民生活部自然保護課，1998）目撃され、さらに2006年12月30日に福井市東下野地籍で撮影されている（香川・香川，2007）。

タヌキ *Nyctereutes procyonoides*

[当館所蔵骨格標本]

①FCMNH-Ma 156 ②2005年1月14日 ③当時、坂井郡春江町石塚（現、坂井市春江町石塚） ④全身骨格

①FCMNH-Ma 157 ②1999年5月10日 ③大飯郡高浜町 ④全身骨格

①FCMNH-Ma 221 ②2006年2月20日 ③福井市足羽山 ④頭蓋（左右ともI1からI3は脱落）および下顎（右i1からi3は脱落）

①FCMNH-Ma 277 ②採集日不明 ③採集地不明

④頭蓋および下顎

①FCMNH-Ma 323 ②2009年3月 ③敦賀市野坂

④頭蓋（左右のI1からP2および右M2は脱落，左右の翼突鉤は破損）

①FCMNH-Ma 338 ②2009年6月29日 ③あわら市北潟 ④頭蓋骨，下顎および環椎

[当館の観察記録] 1951年7月10日に当時，今立郡北日野村岩内（現，越前市岩内町）にて，同年7月17日に当時，武生市大虫町（現，越前市大虫町）にて，1964年11月20日に勝山市で，1977年4月3日に池田町にて，1980年2月1日に当時，大野郡和泉村（現，大野市和泉）にて，2003年1月1日に当時，坂井郡春江町沖布目（現，坂井市春江町沖布目）にて，2006年8

月20日に福井市加茂河原町にて幼獣の，同年9月20日に鯖江市大正寺町にて，同年9月29日に大野市板倉にて幼獣の，2007年3月27日に福井市みのり3丁目にて，同年4月19日に越前町小倉にて，2008年12月12日にあわら市大溝1丁目にて，2009年5月3日に福井市八幡山で，同年6月29日にあわら市北潟にて観察記録がある。

[福井県での観察記録] 1973年4月6日に当時，南条郡今庄町（現，南越前町）で，1979年12月4日に当時，三方郡三方町気山（現，若狭町気山）で，1981年1月27日に三方郡美浜町河原市で，1981年2月20日に勝山市北谷で，同年4月24日に大野市上秋生で観察記録がある（福井県生活環境部自然保護課，1982）。

ハクビシン *Paguma larvata*

[当館所蔵骨格標本] ①FCMNH-Ma 300 ②2008年5月28日 ③越前町江波 ④頭蓋（破片），下顎

[当館の観察記録] 2003年1月11日に福井市南栖原町にて幼獣が，2006年9月20日に南越前町糠にて，2007年12月20日に福井市毛矢3丁目にて，2008年5月28日に越前町江波にて，同年6月28日に福井市米松1丁目にて，2009年2月14日に鯖江市磯部町にて観察された記録がある。

[福井県での観察記録] 1981年4月に大野市で拾得され，福井県自然保護センターに収蔵された遺体が福井県における初記録で，1991年までに10件，嶺北を中心に観察記録がある（池田ほか，1992）。

ゴマフアザラシ *Phoca largha*

[当館所蔵骨格標本] なし。

[当館の観察記録] なし。

[福井県での観察記録] 2008年5月29日午前9時，美浜町日向漁港近くの浜に幼獣が上陸し撮影された（福井県海浜自然センターホームページ）。

アライグマ *Procyon lotor*

[当館所蔵骨格標本] ①FCMNH-Ma 375 ②2010年1月10日 ③福井市清水町 ④頭蓋 備考：捕獲個体

[当館の観察記録] 2007年1月21日に小浜市加斗にて観察された記録がある。また，2008年5月12日に福井市清水町にて幼獣が屋根裏から見つかっている。

[福井県での観察記録] 福井県内では1997年にあわら市で繁殖が確認され（大迫，1998），現在では池田町を除いた全市町で捕獲あるいは生息情報ありとされている（福井県，2009）。有害捕獲頭数は2003年4月から2008年10月までで118頭にのぼり（福井県，2009），とくに丹生山地と嶺南西部での捕獲頭数の急増はアライグマ個体群が爆発的増加期にさしかかりつつあると考えられている（水谷，2009）。

ツキノワグマ *Ursus thibetanus*

[当館所蔵骨格標本]

- ①FCMNH-Ma 012 ②採集日不明 ③採集地不明
 ④全身(尾椎, 左右の手首より末節および左右の足首より末節は損失)
 ①FCMNH-Ma 017 ②採集日不明 ③採集地不明
 ④尾椎9つ, 末節骨7つ, 足根骨9つ, 種子骨4つ, 中指骨8つ, 指骨13つ
 ①FCMNH-Ma 025 ②1955年10月1日 ③福井市毛矢左内公園 ④頭蓋(それぞれ左右の頬骨弓, 後頭顆および鼓室胞は破損, それぞれ左右のI1, I2, I3, P1, P2は脱落)
 ①FCMNH-Ma 037 ②1948年3月28日 ③当時, 大野郡上庄村稲郷(現, 大野市稲郷) ④頭蓋(左右ともI1, I2, P1, P2は脱落)および下顎(左右ともi1, i2, p1, p2は脱落)
 ①FCMNH-Ma 038 ②1948年3月28日 ③池田町 ④頭蓋および下顎
 ①FCMNH-Ma 098 ②2006年11月1日 ③南越前町馬上免 ④全身骨格
 ①FCMNH-Ma 216 ②1952年3月28日(寄贈日)
 ③採集地不明 ④頭蓋および下顎

[当館の観察記録] 2006年11月6日越前市庄田町にて観察された記録がある。

[福井県での観察記録] 奥越地区に多く生息している(福井県生活環境部自然保護課, 1982)。

キツネ *Vulpes vulpes*

- [当館所蔵骨格標本] ①FCMNH-Ma 045 ②採集日不明 ③採集地不明 ④左右の前肢, 左大腿骨および左脛骨, 左腓骨
 ①FCMNH-Ma 218 ②1975年2月16日 ③越前市国兼町 ④頭蓋および下顎

[当館の観察記録] 1930年2月19日に当時, 南条郡王子保村国兼(現, 越前市国兼町)にて, 1951年2月27日に武生市村国町にて, 1952年1月14日に当時, 大野郡西谷村(現, 大野市)にて, 1972年10月13日に当時, 大野郡和泉村箱ヶ瀬(現, 大野市箱ヶ瀬)にて, 1975年10月14日に福井市(記録には一東谷平井とあるが, そのような地名は見当たらなかった)にて, 同年11月15日に福井市一乗谷地区にて, 2007年2月23日に南越前町今庄にて観察された記録がある。

[福井県での観察記録] 1980年4月に大野市で, 同年6月に吉田郡永平寺町下浄法寺で, 同年12月21日に三方郡美浜町金山で観察記録がある(福井県生活環境部自然保護課, 1982)。

レッサーパンダ *Ailurus fulgens* (飼育個体)

- [当館所蔵骨格標本] ①FCMNH-Ma367 ②2009年

6月7日 ③鯖江市西山動物園 ④全身骨格

謝辞

福井市自然史博物館に登録・保管されている哺乳類骨格標本と観察記録は60年にわたり収集・製作されてきたものである。それに関わった全ての方々への理解と活動に心より厚くお礼申し上げる。原稿を読んでいただき有益なアドバイスをいただいた鈴木雅紀副館長, 梅村信哉氏(ともに福井市自然史博物館)に感謝する。

引用文献

- 越前松島水族館, ホームページ自然保護。(参照2009年12月1日)(<http://www.echizen-aquarium.com/sizen-otosei.htm>)
 福井県, 2009, アライグマ防除実施計画書. 福井県, 12 p.
 福井県福祉環境部自然保護課, 2002, 福井県の絶滅のおそれのある野生動物. 福井県, 243 p.
 福井県海浜自然センター, ホームページ, 海浜自然センター日記。(参照2010年1月15日参照)(<http://www.fcnc.jp/centernikki/080529/080529.html>)
 福井県県民生活部自然保護課, 1998, 福井の鳥とけものたち. 福井県, 221 p.
 福井県生活環境部自然保護課, 1982, 福井県の鳥獣. 福井県, 240 p.
 東谷 薫, 1966a, 福井県に見る哺乳類と鳥類, 福井県博物館同好会会報, (13), 11-20.
 東谷 薫, 1966b, 福井県の哺乳類と鳥類, 福井県の生物, 福井県教育研究会理科部会編集, 65-76.
 東谷 薫, 1969, 奥越地方の動物, 福井県博物館同好会会報, (16), 13-23.
 池田善英・須藤一成・林哲, 1992, 福井県におけるハクビシンの生息状況, 福井県自然保護センター研究報告, (1), 53-56.
 石田惣・内藤由香子, 2007, 孤立度によって変化する都市森林の中型哺乳類相, 日本生態学会第54回大会.
 香川正行・香川智恵, 2007, 福井県嶺北地方におけるチョウセンイタチの初記録, 福井市自然史博物館研究報告, (54), 103-104.
 水谷瑞希・西垣正男, 2009, 福井県におけるアライグマの生息状況(予報), 福井県自然保護センター年報(平成20年度), (16) 31-34.
 内藤由香子・石田惣, 2008, 福井平野の孤立丘陵に生息する哺乳類, 日本哺乳類学会2008年度大会.
 Ohdachi S.D., Iahibashi Y, Iwasa M. A and Saitoh T.(eds.), 2009, The Wild Mammals of Japan. 544p. Syokado.
 大迫義人・角昭美, 1995, 1994年に福井県で観察されたオコジョ, 福井県自然保護センター研究報告, (4), 71-72.
 大迫義人, 1998, 1997年福井県で初記録されたアライグマの繁殖, 福井県自然保護センター研究報告, (7) 31-32.
 竹内理三(編集), 1989, 角川日本地名大辞典 福井県. 角川書店, 1669 p.

A catalog of the Carnivora (Mammalia) skeleton collections at Fukui City Museum of Natural History
 Yoshihiro TANAKA

Abstract

A catalog of the Carnivora (Mammalia) skeleton collections is re-identify and prepared in this paper. In addition, records of Carnivora from Fukui prefecture are reviewed.

Key words: Carnivora, Mammalia, museum specimen, catalog, records of observation